TOTO

光電センサー施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

この製品は自動水栓（別売）とセットでご使用いただく信号装置です。取付けに当っては自動水栓の取付説明書と合わせてご覧ください。

安全のために必ずお守りください

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお取付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

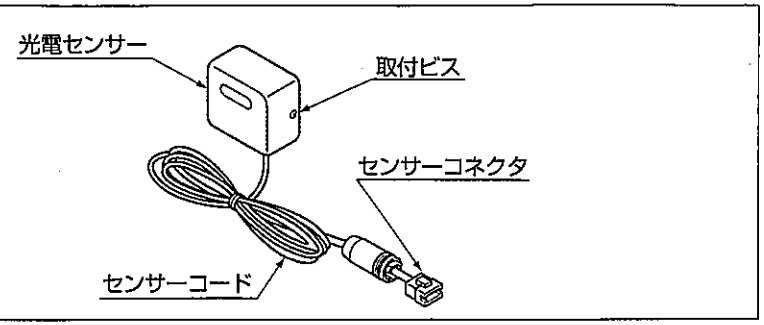
表　示	意　味
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠注意

取付けの際は、この施工説明書及び同梱の取扱説明書をよくお読みの上、取付けてください。
取扱説明書に記載の種々の傷害及び物的損害が発生することがあります。

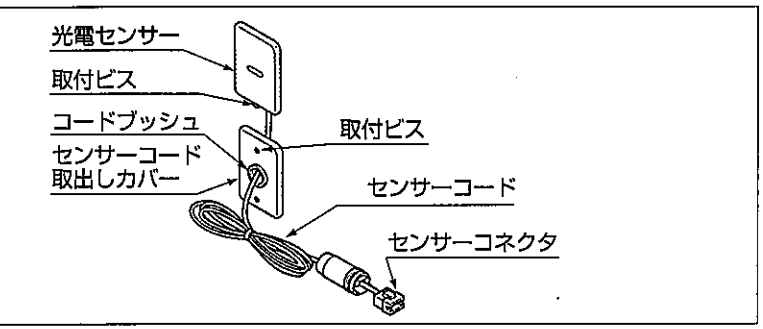
仕　様

TES13B型（露出型）



外寸	60（幅）×55（高さ）×31（奥行）
消費電力	0.5W
周囲使用温度範囲	1℃～40℃
センサーコード	長さ1.5m
木ねじ	φ4.5×25（2本）

TES14B型（埋込型）



外寸	光電センサー	70（幅）×115（高さ）×9（奥行）
	センサーコード取出しカバー	70（幅）×120（高さ）×6（奥行）
消費電力		0.5W
周囲使用温度範囲		1℃～40℃
センサーコード		長さ1.5m
取付ねじ		M4×20（4本）

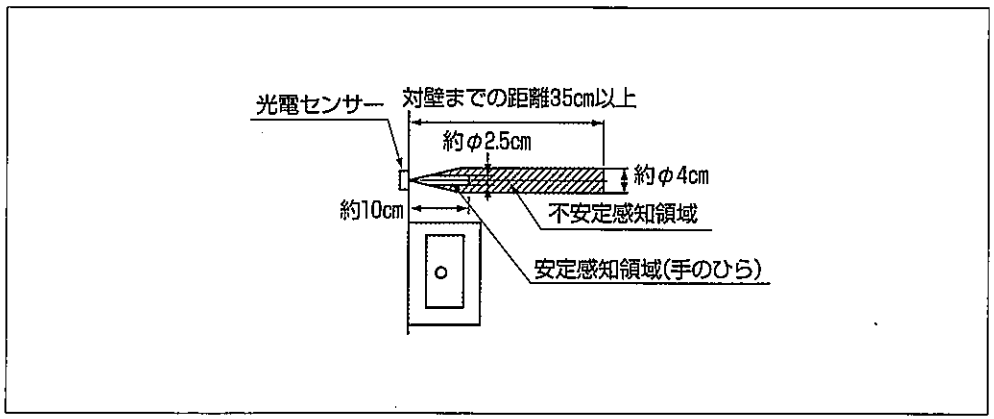
取付け前に

1.コネクタ部には水をかけないようご注意ください。
2.センサーコードは他の電源線と同一電線管内に配線しないでください。
3.TES14B型(埋込型)を施工する場合は、スイッチボックス2個及び電線管・電線管コネクタを現場でご用意ください。
- スイッチボックス
  型番…JIS C8336
  1個用スイッチボックス(カバー付)
- 電線管・電線管コネクタ
  必ず"呼び25"を使用すること

4.センサー面は傷をつけないよう十分ご注意ください。
5.センサーコードは1.5mです。光電センサーを設置するときは、センサーコード長さを考慮の上決定してください。
6.センサーコード及びセンサーコネクタ部に強い力を加えないよう注意してください。故障の原因になります。

取付位置の決定

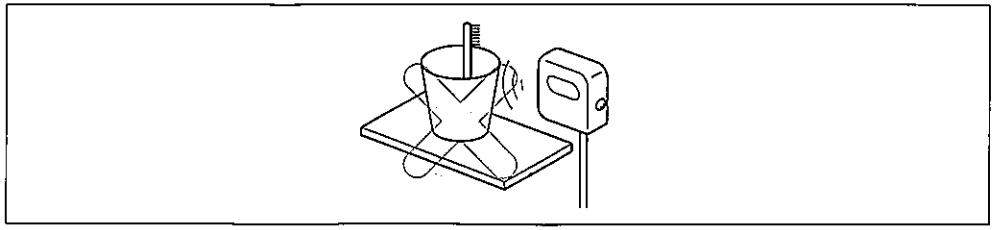
- 光電センサーの取付位置
  光電センサーの感知領域は図のようになっています。取付位置は、次の点を注意して決めてください。



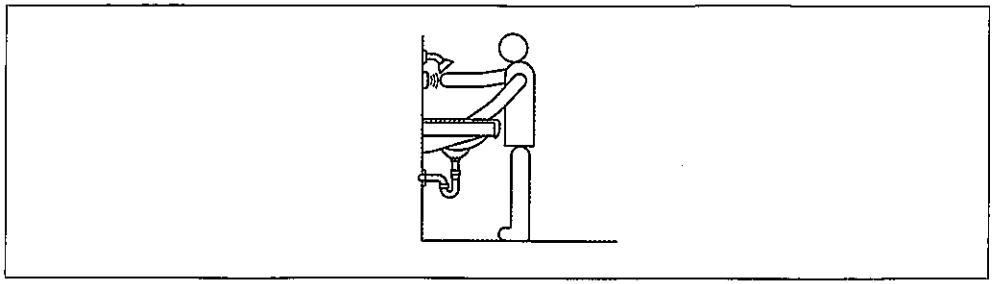
(注)光電センサー正面の壁がステンレス等の反射しやすい場所への設置や、光電センサー同士が対向するような設置は、誤動作を生じますので避けてください。

03301R

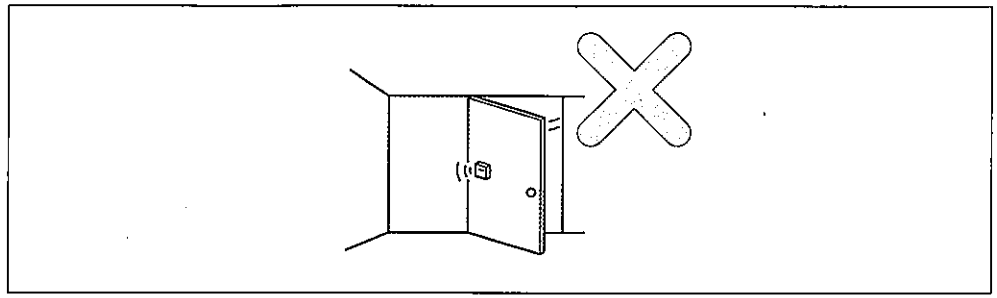
1.不安定感知領域に障害物が入らないようにしてください。



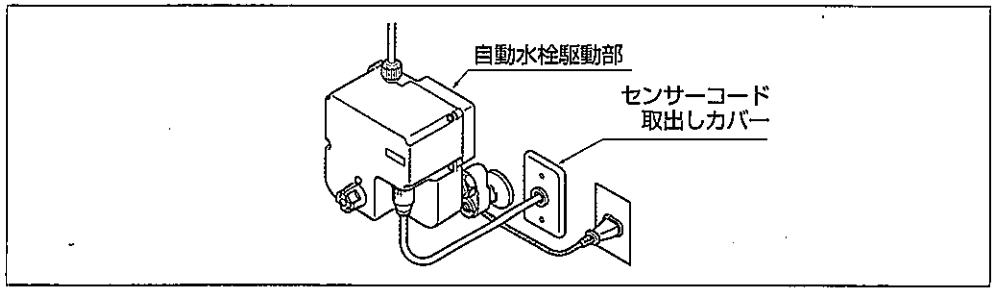
2.使用者が手を出して確実に感知できる位置(安定感知領域)に光電センサーを設置してください。



3.ドアなど振動したり、衝撃が加わるものには取付けないでください。



- センサーコード取出しカバーの取付位置(TES14B型の場合)
  センサーコード取出しカバーの取付位置は、自動水栓駆動部(別売)のコネクタ付近に設置してください。

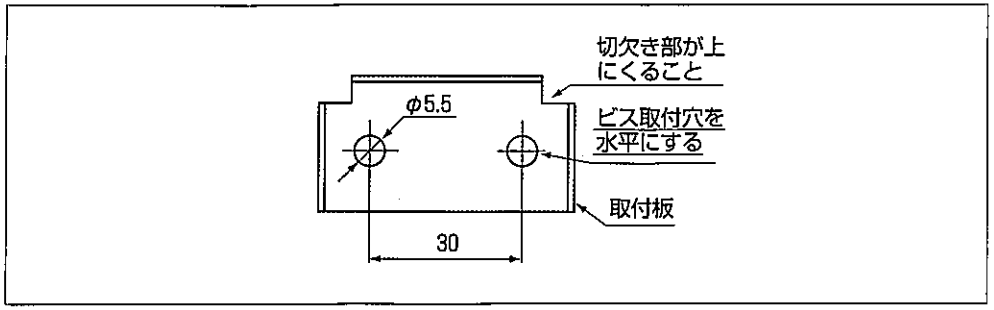


取 付 け と 配 線

〔TES13B型（露出型）の場合〕

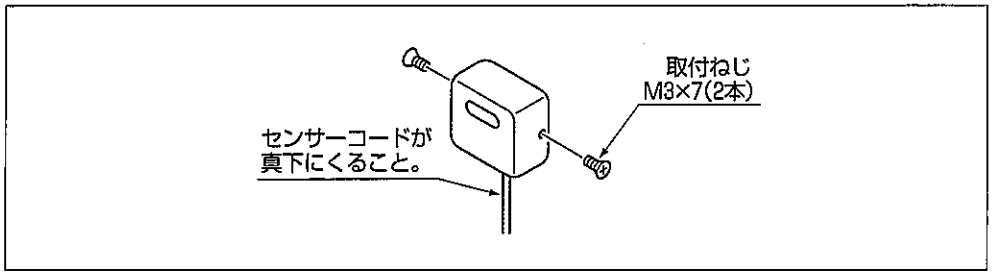
1.光電センサー取付位置に取付板を付属の木ねじ2本で固定してください。

(注) 取付板には方向性がありますのでご注意ください。



2.光電センサーを取付板に取付ねじで固定してください。

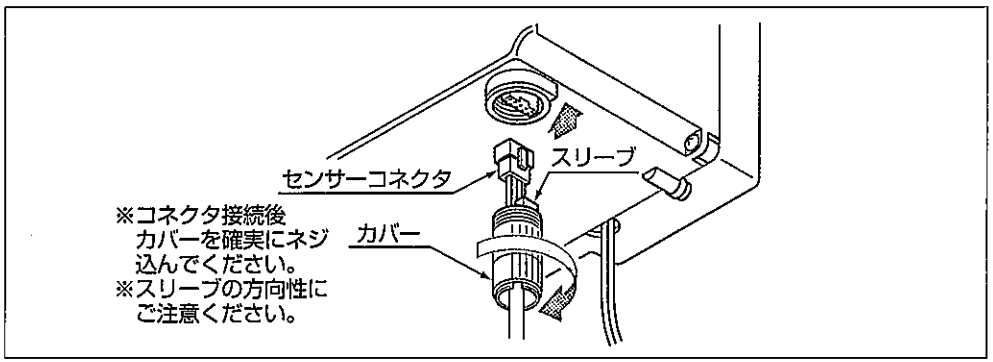
(注) 光電センサーを取外す時にドライバーが入るスペースを確保してください。



3.センサーコネクタを自動水栓駆動部（別売）のコネクタに接続します。

コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差込んでください。またカバーの締付けは、手締めにて確実に行ってください。

(注) スリーブがカバーの中に入っているか確認してください。

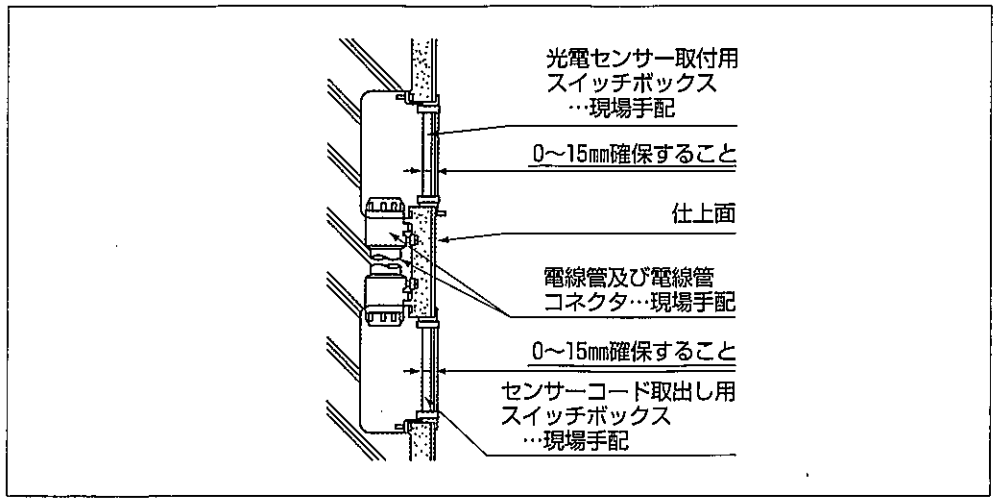


〔TES14B型（埋込型）の場合〕

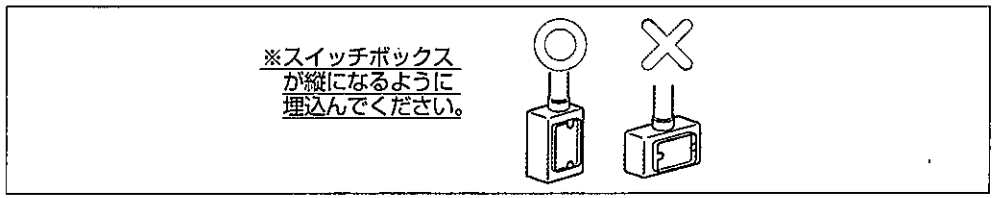
1.光電センサー取付位置及びセンサーコード取出し口にスイッチボックスをあらかじめ埋込んでおきます。

(注) スイッチボックスは、JIS C8336…1個用（カバー付）を使用してください。

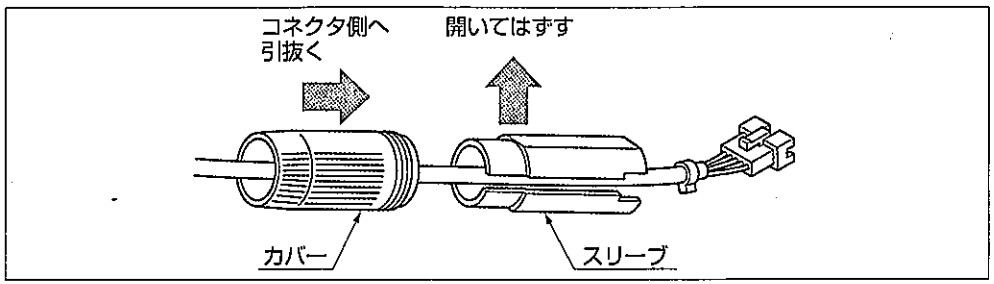
(注) 電線管及び電線管コネクタは必ず“呼び25”を使用してください。



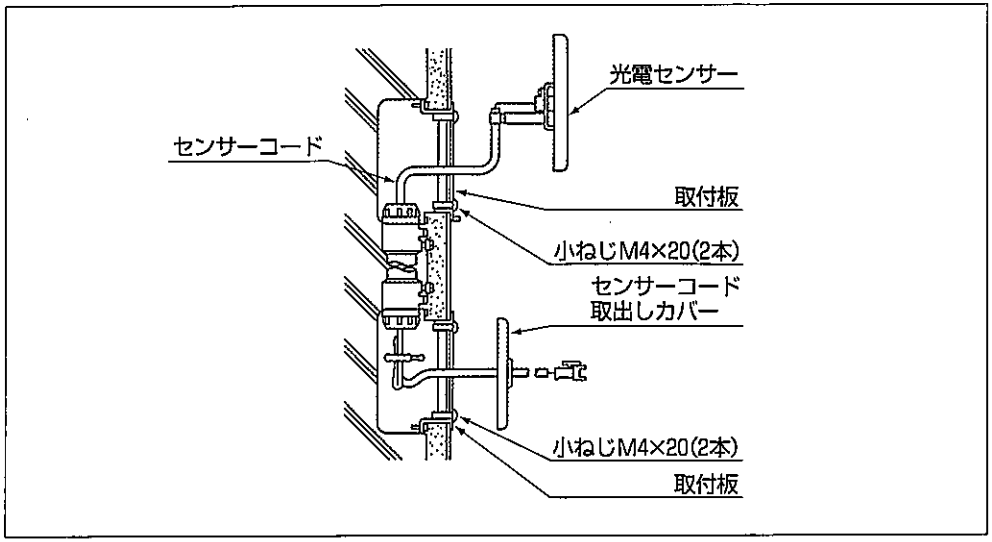
(注) スイッチボックスを埋込む場合、方向性がありますのでご注意ください。



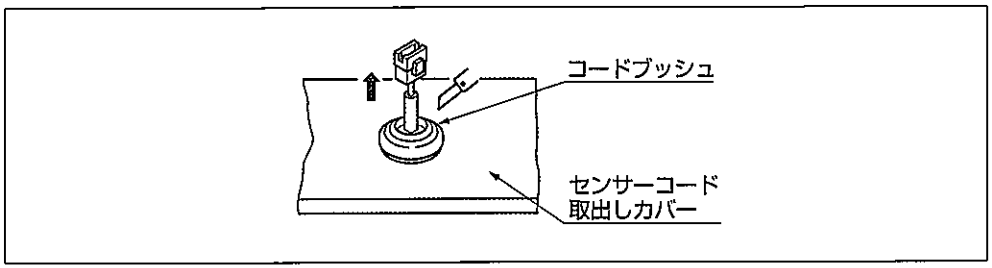
2.センサーコードに付いているカバーとスリーブをはずします。スリーブは、片側を開いてはずします。



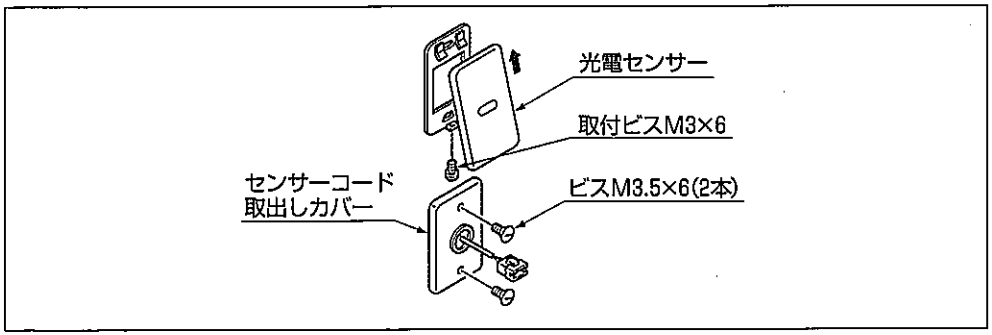
3.センサーコードを電線管に通したあと取付板を付属の小ねじ2本で固定してください。
(注) センサーコードを電線管に通す場合、センサーコネクタに強い力を加えないよう注意してください。故障の原因になります。



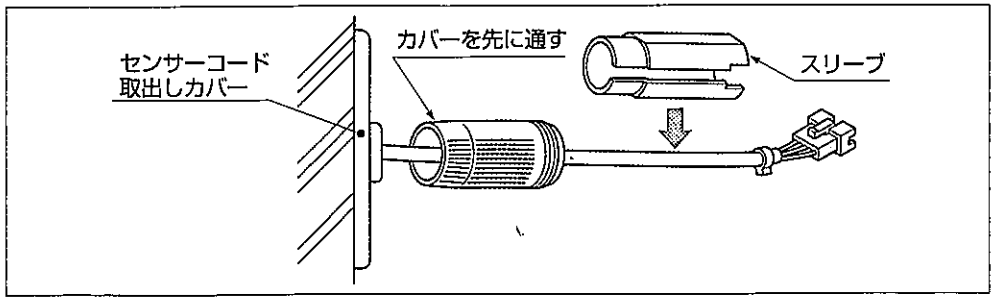
4.センサーコード取出しカバーのコードブッシュの膜をナイフで切りセンサーコードを通してください。かたい場合はコードブッシュを外して通してください。



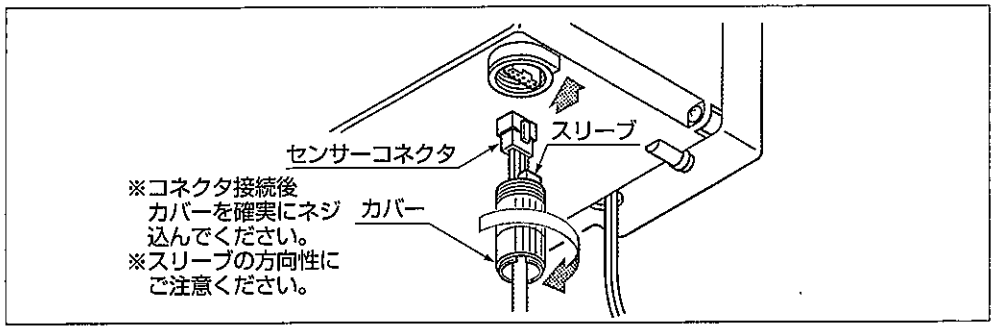
5.光電センサーは上部を取付板の爪に差込み、下部ビスにて固定してください。またセンサーコード取出しカバーはビス2本で固定してください。



6.センサーコード取出しカバーより出ているセンサーコードに、カバー・スリーブを取付けます。



7.センサーコネクタを自動水栓駆動部（別売）のコネクタに接続します。
コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差込んでください。 またカバーの締付けは、手締めにて確実に行ってください。
(注) スリーブがカバーの中に入っているか確認してください。



取付完了後の確認

取付けが完了したら、自動水栓（別売）の差込みプラグをコンセントに差込んで次の要領で作動の確認を行ってください。

- 光電センサーに手をかざすと水が出て、再び手をかざすと水が止まることを確認してください。
- 万一、止水忘れがあっても約8分で自動的に止水します。